



アロマセラピー
アドバイザー
亜矢のハー
ブ・ロメモ
Tel.3801-4725

ゴールデンウィークはみなさまいかがお過ごしでしたか？
私はいつも通りにお店に参りました。

西川のオーダー枕を始めてからお休みの日にご来店されるお客様も多く、色々な方とお話しできて楽しかったです。

今月になって当店で出しているハーブティーは、タンドレスブレンドです。紫外線が多くなるこの季節に、お勧めのブレンドです！飲みやすいのでお試しください！
□バラ

神経を鎮めてジェラシーをおさえてくれます。整腸作用もあります。便秘の方にはウスペニアオイと共に飲まれることをおすすめします。

□ウスベニアオイ
呼吸器系によく、飲み続けるとシミが薄くなるともいわれ、若返りのハーブと好まれています。故モノコ王妃のグレースケリーさんもお好きでよく飲まれていたそうです。
□レモンガラス
消化を促進し神経をやわらげます。

【飲み方】
ポットに一袋分のハーブをいれます。熱湯を350cc注ぎ3〜4分おいたら飲み頃です。ハーブには多少、利尿作用があるので夜気になる方には夕方までの飲用をおすすめします。

荒川区南千住8-12-5 べるぼうと東館1階
西川寝具・ハーブの店

ラ・ボンヌオカモト

営業時間 朝10時から夜7時 水曜定休



岡田生花店
ベルポート汐入店
営業10～19時
水曜定休
Tel・Fax3802-8716

今年のゴールデンウィークはどのように過ごされましたか？今年も天候にも恵まれたので、外出された方も多いのではないのでしょうか。

5月は母の日がありました。カーネーションを使った花束やアレンジメント、鉢物などを用いた方もいらつしやると思います。今月はお花のお手入れについてお話ししたいと思います。

◇花束

花束を受け取ってから時間がたっているそのまゝの状態ということはないと思いますが、受け取ったなら、なるべく早く茎を切り戻して清潔な花瓶に移し換えてください。日光が直接当たらない所に飾れば、5月ならば1週間から10日は楽しめると思います。水が濁ってきたら水を捨てて中をきれいに洗って、茎を1センチくらい切って花瓶に戻してください。

◇アレンジメント

こちらはもう水につかっているのです、お水を足していけば大丈夫です。こちらも日光に当たらない所に置いてください。透明のセロファンでくるまれている場合は、はずしてから飾ってください。

◇鉢物

こちらは種類によってお手入れの仕方が違います。今回はカーネーションのお手入れについてお話しします。カーネーションは、日光が大好きなので屋外で管理します。なるべく、日光に当たる所に置いてください。10日に1回は液体肥料をあげるとお花がよく咲きます。咲き終わった花からはこまめにとって下さい。日光がよく当たる場所ならかなりの間咲きます。

5月の定休日は11・18・25日です。

☆南千住警察署よりお知らせ

○空き巣被害連続発生

- ① 4月7日13時頃〜17時頃 南千住5丁目空き巣
- ② 4月7日9時頃〜23時頃 南千住5丁目空き巣
- ③ 4月に入り、南千住管内において、空き巣被害が連続発生しました。

侵入盗対策には窓や扉の確実な施錠が基本です。泥棒は侵入に時間がかかることを嫌います。窓等のガラスには防犯フィルムを張り、防犯性能の高い鍵を取り付けましょう。また、センサー付きライトや防犯カメラを設置し、泥棒を寄せ付けられないような対策をとりましょう。

○自転車盗難に注意しましょう。

昨年、南千住警察署管内で認知した刑法犯No.1は、自転車盗です。被害に遭った自転車の多くが無施錠の状態です。盗まれています。

《自転車等の防犯対策》

- 1 自転車には防犯登録をしましょう
- 2 防犯性能に優れた鍵を取り付けましょう
- 3 わずかな時間でも必ず鍵をかけましょう
- 4 路上に放置せず整備された駐輪場におきましょう

南千住警察署

Tel (3805) 0110

荒川消防署からのお知らせ

子どもの事故を防止しよう

東京消防庁管内では平成22年〜26年の5年間で59万5911人が日常生活における事故により救急車で病院に運ばれました。平成26年中は12万7216人でした。その中でも乳幼児（5歳以下の子ども）と高齢者の救急搬送人員が多くなっています。

乳幼児の中で年齢別では1歳が最も多く、次いで2歳となっています。乳幼児の事故で入院が必要とされる中等症以上の事故は「おぼれる事故」「やけど」「落ちる事故」となっています。他に窒息・誤飲の事故も発生しています。

おぼれる事故の発生場所の第一位は自宅の浴槽です。首掛け式浮き輪でおぼれる事故も発生しています。

やけどは、味噌汁やお茶など熱い液体でのやけどが多いです。

住宅等の窓やベランダから落ちる事故では東京消防庁管内では平成22年〜26年の5年間で乳幼児115人が救急搬送されています。なお、平成27年（速報値）は19人でした。

乳幼児は危険に対する認識が乏しく、危険を回避する能力が未熟です。家族など周囲の人が過去にどのような事故が発生しているかを知り、事前に対策をとり、重大な事故から子どもを守りましょう。

荒川消防署 Tel (3806) 0119

